

第1回 センサ技術産業応用セミナー 「テーマ：健康・長寿」 「生体計測の基礎と産業応用」

次世代センサ協議会では、スマート社会におけるさまざまな産業領域に必要なセンサ応用技術が体系的に学べるセンサ技術産業応用セミナーを企画しました。バックキャスト視点で近未来産業の次世代センサに興味のある方（経営企画・技術戦略、研究開発・商品開発のご担当者、大学・研究機関での研究者など）に向けて産業領域における、基礎的な計測原理の理解に加えて、実際の産業応用や具体的な社会実装形態も含めて体系的に学べるオンデマンドセミナーとなっております。

本テーマは「健康・長寿」となっております。先進国では高齢化による医療費の増加に加えて拡大する医療格差が社会問題になっており、人生 100 年時代に向けては健康寿命を延ばして医療・介護費を抑えることが求められています。そのためには、日ごろの健康づくりや病気の早期発見が重要となります。人の健康状態を示すバイタル情報の計測技術はセンサデバイスの進化に伴い、病院で測るものから常時モニタリングできるようになってきました。本セミナーでは健康長寿に向けて生体計測の基礎から理解し、予防医療の実現に向けた最新技術や社会実装に向けた課題や取り組みについて紹介します。

（企画委員：松本 慎也、新井 康祐）

- **開催日** : 2026年3月9日（月）～ 2026年5月8日（金）全講座オンデマンド配信
- **学習要領** : 受講者には資料とオンデマンド URL を通知しますので、2 か月の配信中に Web より自由に講座を選択、聴講いただきます。
- **主催** : （一社）次世代センサ協議会

テーマ：健康・長寿		「生体計測の基礎と産業応用」
第1講	生体計測の基礎	生体計測を電気・力学・化学信号の3分類で整理し、ECG・血圧・血中酸素飽和度などを例に計測原理と特徴を概説する。 藍野大学 教授 五十嵐 朗 氏
第2講	生体温度計測の基礎と産業応用	体温計測の原理とセンサ技術について、これまでの展開に加えて、ウェアラブル機器や AI を活用した最新技術まで分かりやすく概説する。 東京科学大学 教授 村山 嘉延 氏
第3講	血圧計測の基礎と産業応用	血圧計測の原理から、ウェアラブルや在宅医療を視野に、次世代センサと AI による個別化・精度向上まで、未来の開発に役立つヒントをご紹介します。 オムロンヘルスケア株式会社 佐藤 博則 氏
第4講	心電計測の基礎と産業応用	心電図計測の基礎と、導電性素材 hitoe を用いたウェアラブル心電計の研究開発および産業応用事例について紹介する。 NTT 株式会社 桑原 啓 氏
第5講	脳波計測の基礎と産業応用	脳波は脳機能を知る有用な手法として利用されている。本講演では脳波の基礎、脳波の測定方法そして今日の医療や産業での利用について紹介する。 株式会社ミユキ技研 白澤 厚 氏
第6講	血糖計測の基礎と産業応用	血糖測定の基礎となる電気化学反応に基づく原理と性能向上技術の変遷に加え、連続計測をはじめとする技術の新たな展開や方向性を展望する。 アークレイ株式会社 藤縄 義明 氏 西山 尚 氏

- **参加費** : 次世代センサ協議会個人会員 / 10,000 円、特別会員・特別関連団体*所属の会員 / 16,000 円、非会員 / 30,000 円、学生 / 無料（研究室指導教官経由申し込みのこと）
- **団体参加費** : 次世代センサ協議会法人会員 / 無料、非会員・4 人以上の団体参加 / 100,000 円（いずれも消費税込）
- ***特別会員・特別関連団体** :
（公社）計測自動制御学会、（一社）日本電気計測器工業会、（一財）マイクロマシンセンター、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、（一社）日本計量機器工業連合会、（一社）センサイト協議会、（一社）情報処理学会、センシング技術応用研究会
- **入会特典** : 一般の方で、次世代センサ協議会の個人会員（年会費 8,000 円）になられる場合は、今回より次世代センサ協議会会員参加費が適用となります。是非この機会にご入会をご検討ください。非法人会員の企業の方も入会すれば本講座は無料で参加できます。入会に関する詳細は、ホームページよりご確認ください。
- **申込方法** : 事前登録制となっておりますので、参加ご希望の方は下記ホームページよりお申込みください。団体参加の場合は連絡担当者より受講者名簿を提出いただき Web より登録いただきます。参加者または団体連絡担当者には受付受領メールお送りします。参加費は後日請求書（クラウド請求サービス）をお送りしますので、指定銀行に振り込み願います。
- **申込締切** : 4月24日（金） ※但し、オンデマンド配信終了日の延長は受け付けません。
- **参加方法** : 参加者には、メールにて講義資料 URL、およびオンデマンド URL をお知らせしますので、URL をクリックしてご参加下さい。

お申込みはこちらから